

当センター職員における新型コロナウイルス感染者の発生について（2例目・第2報）

令和4年2月28日（月）午後に陽性職員との接触が疑われた患者及び職員計22名に念のため抗原（定量）検査を行い、全員陰性との結果が得られました。また、明らかな症状が出ている方は誰もいません。

ただし、検査結果に偽陰性（本当は陽性なのに、陰性という結果が出てしまうこと）があること、潜伏期といって検査で陽性になるまでに時間がかかること、抗原（定量）検査はPCR検査と比較すると感度が低い（発見できる確率が低い）ことなどから、最低1週間は注意深く経過を見守っていきます。

また、感染の可能性が通常より高いと思われる職員（陽性者との接触時間が長い、同じ更衣室の利用があった等の職員）複数名に関しては、最低1週間の自宅待機を命じております。

ご家族の皆様方には、ご心配をおかけすることになり誠に申し訳ございません。今後とも当センターでは、患者と職員の安心・安全を第一に考え、感染症防止のための取り組みを実施して参ります。何かありましたら当センターより連絡をいたしますので、個別の問い合わせはお控えくださいますようお願い申し上げます。ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月1日（火）
岡山療護センター センター長